

都市特性別の墓地需要特性に関する研究

建設工学専攻 2416005 九岡 大輝
研究指導教員 森田 哲夫

1. はじめに

1.1 研究の背景

近年未婚率の増加に伴う少子化や、過疎地域における人口の減少が問題とされており維持できない墓地が増加することが予想される。また、地域によっては死者数が増加することで墓地の空き区画が減少し墓地の供給が不足する問題が発生している。

墓地問題は都市計画を行う上で重視する必要がある、地域ごとに発生する墓地問題の特色を把握することが必要である。

1.2 研究の目的

現在の墓地問題は都市によって異なり、墓地問題の解決にはその地域の墓地問題を把握し対処する必要がある。そこで本研究の目的は都市特性別の墓地需要の差異を把握することとする。

1.3 既存研究と本研究の位置づけ

本研究の目的に対応し、墓地需要に関する既存研究について整理する。榎村¹⁾は家族形態及びライフスタイルの変化と墓地のあり方について研究を行っている。青木・横田・大佛²⁾は墳墓需要に関する要因分析を行い奈川県が行った墓地に関わる県民意識調査の調査データを用い、墳墓取得の必要性や墳墓需要と個人属性の関係など墳墓需要の特性を分析している。塚田・森田³⁾地方都市における市営墓地の需要把握について研究し、群馬県前橋市を対象とし、樹林型墓地などの新しい墓地形態の需要量を検討している。

本研究は墓地需要研究の系譜上に位置し、都市特性別の墓地需要特性に着目した。これまで墓地需要特性の地域差に着目した既存研究は無く、都市特性別の墓地需要特性の把握を行うという点において本研究は新規性を有する。

2. 研究方法

2.1 研究対象地域

都市特性別の墓地需要特性を把握するため、全国都市交通特性調査（全国PT調査）の対象地域を参考に対象地域の設定を行った。

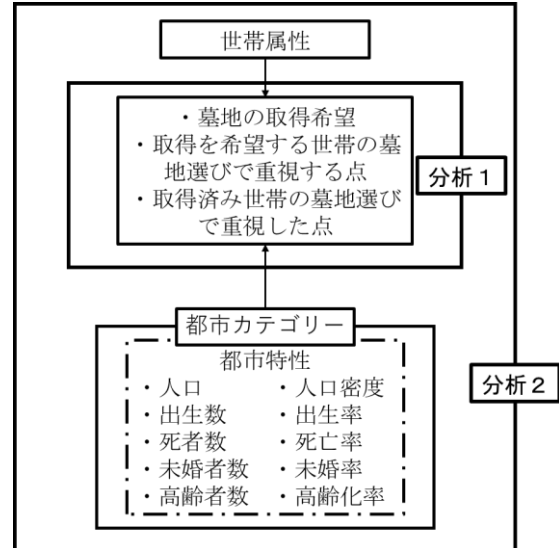


図1 分析方法

2.2 使用データ

分析は対象地域にて実施した墓地に関するアンケート調査で得られたデータと人口動態調査等の統計データを用いて行う。都市カテゴリーごとの世帯属性と墓地需要特性をアンケート調査によって、墓地需要に影響を及ぼすと考える都市特性を統計データによって調査する。

2.3 分析方法

はじめにアンケート調査の結果を用いて基礎集計を行い墓地の取得希望、墓地の取得を希望する世帯・取得済み世帯の墓地選びにおいて重視する点の把握を行う。

次に都市カテゴリー別、都市特性別、世帯属性別の墓地取得希望、墓地の取得を希望する世帯・取得済み世帯の墓地選びにおいて重視しない点を、クロス集計を用いて分析する。

3. 分析結果

3.1 墓地の取得希望・墓地選びで重視する点

アンケート調査の結果を用いて墓地の取得希望、墓地の取得を希望する世帯・取得済み世帯の墓地選びにおいて重視する点を分析する。集計の結果希望する世帯の比率が13.8%、希望しない世帯の比率が86.2%となり多くの世帯が取得を希望しな

表1 クロス集計カイ二乗検定結果

	都市カテゴリー		個人属性					都市特性											
	都市カテゴリー	性別	年齢階層	世帯構成	居住年数	居住意向	墓守立場	人口	人口密度	出生数	出生率	死者数	死亡率	高齢者数	高齢化率	未婚者数	未婚率	交通手段分担率	
取得希望	取得希望	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
取得を希望する世帯の墓地需要特性	取得希望有り理由	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	希望有り取得時期	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	希望有り運営形態	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	希望有り墓地形態	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	希望有り墓地場所	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	希望有り所要時間	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	希望有り交通手段	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○
	希望有り墓地費用	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	希望有り継承有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	取得希望無し理由	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
取得を希望しない世帯の墓地需要特性	取得済み取得時期	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	取得済み運営形態	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	○	
	取得済み墓地形態	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	取得済み墓地場所	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	取得済み所要時間	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	
	取得済み交通手段	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	
	取得済み墓地費用	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	取得済み継承有無	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	取得済み墓参り回数	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	
	墓地に対する意向	従来墓地形態に対する意見	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
取得への意見		×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
リモートの墓参りに対する意見		×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

いことが分かった。続いて墓地選びで重視する点を見ると希望する世帯で最も比率が高い項目は「墓地の運営形態」、「お墓の取得費用」の40.6%、取得済み世帯では最も比率が高い項目は「お墓の承継ができるかどうか」で32.0%となった。

3.2 都市特性格別の墓地需要特性

続いて都市特性と墓地需要特性の関係把握を行うために都市カテゴリー・世帯属性・都市特性を説明変数、墓地需要特性を目的変数としてクロス集計とカイ二乗検定を行った。集計の結果から都市特性と世帯属性の影響を比較すると世帯属性による影響が大きく、特に「墓を守る立場であるか」が影響することが分かった。クロス集計を行った変数のカイ二乗検定結果一覧表を表1に示す。この結果は、墓地需要は都市の特性による影響が小さいこと、加えて家族形態の変化による必要とされる墓地の変化が既に墓地を取得している世帯とこれから取得する世帯の需要を変化させていることを示すと考える。続いて都市特性が大きく影響した項目を分析したところ「墓地までの交通手段」が大きく影響を受けることが分かった。都市カテゴリー別の取得済み交通手段を図2に示す。これは都市によって影響を受ける墓地需要特性の中で最も影響されるものが交通手段であり、交通手段を重視した墓地設置を行うべきであることを示すと考える。

4. まとめ

4.1 研究のまとめ

本研究は都市特性と墓地需要特性の関係を把握することを目的とし分析を行った結果、取得希望

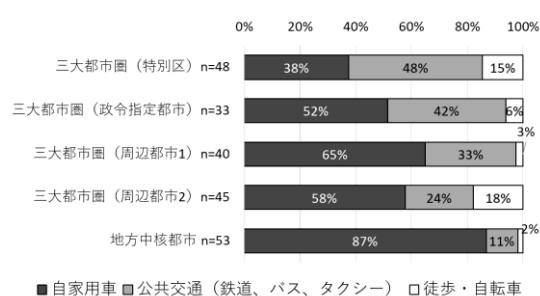


図2 都市カテゴリー別墓地取得済み交通手段

を希望する世帯の比率が低いことや希望する世帯と取得済み世帯で重視する点に差異が生じることが分かった。続いて世帯属性や都市特性によって取得希望や墓地選びで重視する点に変化が生じることが把握を行ったところ、都市特性は世帯属性と比較し墓地需要特性に影響を与えるが低いこと、都市特性から影響を受ける墓地需要特性は「墓地までの交通手段」であることが分かった。

4.2 今後の課題

今後の研究については墓地までの交通手段に着目した分析や研究対象地域の広域化、現在の公営墓地整備状況と分析結果の比較による墓地問題の把握を行いたいと考える。

参考文献

- 1) 楳村久子：“家族形態及びライフスタイルの変化と墓地のあり方”、Vol.53, No.5, pp281-286, 1990.
- 2) 青木義次・横田陸・大佛俊泰：“墳墓需要に関する要因分析”、日本建築学会計画系論文集、Vol.468, pp75-83, 1995.
- 3) 森田哲夫・塚田伸也：“地方都市における市営墓地の需要把握に関する課題”、都市計画論文集、Vol.52, No3, pp451-458, 2017.